

立候補者のお名前	大西ひろゆき
所属政党	自由民主党
選挙区／比例ブロック名 (*)	大阪1区
問1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？(単独回答)	3. 将来入る可能性はある
問2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白(カミングアウト)されたら、あなたはどうなさいますか？(複数回答可)	1. その人を尊重し応援したいと思う
問3-① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	5) その他(具体的な答えや補足は、問3⑦の下のボックスに、自由記述願います)
問3-② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	5) その他
問3-③ 国・自治体の各レベルで、LGBT(性的指向・性自認に係る)の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	5) その他
問3-④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	5) その他
問3-⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	5) その他
問3-⑥ LGBT に対する(性的指向・性自認に係る)、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	1) 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである

<p>問3-⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮した、サービスや施設面の対応を推進する</p>	<p>5) その他</p>
<p>上記①-⑦にて、5)をお選びの場合、①-⑦を特定しながら、具体的にご記述ください。</p>	<p>問3⑥以外&gt;性的指向・自認に関する広く正しい理解の増進を目的に、今後、議員立法の制定を目指す、その内容や範囲に関しては実際に困難を抱えている方々の意見をよく聞きながら策定していくべきと考える。</p>
<p>問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）</p>	<p>7. その他（具体的に下部ボックスに）</p> <p>パートナーシップ制度に関しては、国民の性的指向自認に対する理解の増進が前提であり、その是非を含めた慎重な検討が必要。</p>
<p>問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。</p>	<p>学校や職場、社会生活等において当事者の方が直面する様々な困難に向き合い、課題の解決に向けて積極的に取り組む</p>